



宮田中だより 2020年 2月号

横浜市立宮田中学校 電話045-331-5288



いまさらながら「あいさつ」って何？

校長 上原 浩

例年のない暖冬が続いており、雪不足で生活が助かっている豪雪地帯、雪不足で営業できないスキー場、悲喜こもごも、自然相手ではどうすることもできません。ここ数年、自然のゆらぐ幅が大きくなっていることを実感する機会が多くなってきました。これまでの経験では判断できない、「予測が困難な時代」が社会生活のみならず自然界にも差し迫っています。正に、子どもたちに「生きる力」をどう育むかは、益々、大きな課題となっていると思います。

さて、年度末を迎え、宮田中では、今年度を振り返りながら令和2年度の準備に追われています。下の表は、昨年10月上旬に実施しました「学校評価アンケート（設問数20数個）」の一部です。回答は生徒299人、保護者189人、宮田中教職員です。ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。合計が100%になっていない場合は、無答があるためです。全体的に、設問に対し「そう思う」と「ややそう思う」の合計ポイントは70%前後です。また、昨年度と比べると肯定的なポイントが軒並み低くなっているため、職員一同、気を引き締めていかなければと思っております。ただ、昨年度のアンケートは文化祭終了後の11月上旬に配布、今年度はその前の10月上旬に配布しました。今年度の文化祭や70周年記念式典での子どもたちの輝きと与えてくれた感動の大きさを考えると、もう少し評価は高いのでは？という思いもあります。今後は、配布時期、設問内容を統一し、経年変化を分析して参ります。

ところで、設問の中で、教職員と生徒の捉えが大きく異なるものが一つあります。昨年度も同様な結果でした。それは、「誰にでもすすんであいさつすることができるか？」という問いです。「そう思う」と「ややそう思う」の合計ポイントが生徒71%に対し、教職員48%。子どもたちは「普通にあいさつしているのに」と思い、先生方は「宮田の生徒はあいさつが今ひとつ出来ていないな」と感じている（人が多い）。この差はどう解釈すれば良いのでしょうか？生徒の皆さんの意見も聞いてみたいと思っております。

設 問	回答者	そう思う	やや思う	あまり思わない	思わない
充実した学校生活を送っている。	生徒	35%	37%	19%	9%
	保護者	39%	34%	12%	8%
	教職員	21%	47%	21%	5%
意欲的に授業に取り組んでいる。	生徒	28%	46%	19%	6%
	保護者	16%	40%	25%	4%
	教職員	11%	63%	21%	0%
誰にでもすすんであいさつすることができる。	生徒	28%	43%	22%	7%
	保護者	20%	40%	21%	7%
	教職員	11%	37%	26%	21%
学校は生徒の良さを認め、理解しようと努力している。	生徒	28%	44%	19%	9%
	保護者	27%	46%	13%	7%
	教職員	37%	37%	16%	5%
学校行事を通して、集団への帰属意識を高めている。	生徒	32%	40%	18%	10%
	保護者	35%	37%	16%	4%
	教職員	26%	47%	21%	0%

どちらにしても、あいさつは、無いよりあった方がいい。ただし、強制するものでも、されるものでもありません。あいさつは、「人と人がつながる最短の会話」です。もちろん、長い会話や出会いのきっかけにもなります。ある程度つながりがある人、つながりたいと思っている人、同じ宮田中で生活している人、70年前からある宮田中を見守ってくださっている人と「やあ、また会ったね」、「今日も元気かな?」、「応援してるよ」、「何かあったら助けるよ」、「何かあったらよろしくね」、「お互いにね」くらいの思いを込めた「サイン交換」のつもり

で、「おはようございます」、「こんにちは」の声が徐々に大きくなっていけば、宮田中は、宮田中を取り巻く地域は、もっともっと気持ちのいい環境になっていくのではないのでしょうか。もちろん生徒の皆さんを一番応援している家族に対しても。

(本調査結果は、学校評議会でも地域の方から意見を伺いまとめます。

今後、何かの機会にお伝えしていきたいと思っております。)



国際平和募金



今年も福祉委員会を中心に国際平和募金（ユニセフ募金）に取り組んでいます。2/4・5は校内で、2/7は松原商店街でシンガーソングライター部の応援を得て、道行く人に呼びかけます。海外に目を向けると環境問題や貧困問題に対して若者が積極的に活動する姿が多く見られるようになってきました。もちろん、年齢に関係なく、昨年末にアフガニスタンで亡くなった中村哲医師のような方も大勢います。募金を機に、「地球市民」としての関心を高めて欲しいと願っています。



ユニセフ（UNICEF：国連児童基金）は、すべての子どもの命と権利を守るため、最も支援の届きにくい子どもたちを最優先に、約190の国と地域で活動しています。保健、栄養、水と衛生、教育、暴力や搾取からの保護などの支援を実施し、その活動資金は、すべて個人や企業・団体・各国政府からの募金や任意拠出金でまかなわれています。

「図画工作・美術・書道作品展」～ 苦手な人こそ大いに参考になるのでは？ ～

横浜市立学校では、芸術・文化の祭典として、毎年「横浜市立学校総合文化祭」を行っています。その一環として、過日、横浜市民ギャラリーで「図画工作・美術・書道作品展」を開催していました（2/3終了）。本校美術科の鈴木恵子先生から「宮田から生徒38人の作品が展示されています。」と教えていただいたので、出張帰りに立ち寄りしました。中に入ると、各校を代表する優秀作品が一堂に飾られているので、美術館と見紛ってしまいます。これが、中学生が作ったものなのか？と思える様な作品がたくさんあり、地下には市立高校生のプロ級の作品も多数。もちろん、宮田の子どもたちの作品も輝いていました。

「興味がある人」はもちろん、「苦手な人」に是非見て欲しいと思いました。「こんな事が表現できるのか」、「こんな風につくればいいのか」、「こんなことをやってもいいのか」等、大いに刺激になるかなと思いました。「いいものを見る・体験する」ということは子どもたちの成長にとって大きな効果があると改めて思いました。今後、このような作品展があれば、もう少し力を入れて、事前にお知らせいたします。



今後のおもな予定

2/13(木)2年英語 SEPRO
2/14(金)公立高校共通選抜試験開始
2/20(木)1・2年市学力・学習状況調査
2/21(金)授業参観・懇談会、PTA総会
2/25(火)学校評議員会
2/26(水)3年卒業遠足 (TDL)

2/26(水)1・2年学年末試験 (~28)
2/28(金)公立高校共通選抜発表

3/9(月)三年生を送る会
3/11(水)卒業証書授与式
3/17(火)1年横浜校外学習 2年球技大会
3/18(水)2年東京校外学習 1年球技大会
3/25(水)修了式

